

県内の障害者50人 運転時注意点学ぶ

吉田で教室

県身体障害者福祉会は5日、県内に住む身体障害者を対象にした交通安全教室を吉田町の町健康福祉セン



シートベルトの効果を感じてもらう参加者。吉田町の町健康福祉センター「はあとふる」

ター「はあとふる」で開いた。県中部地区から集まった約50人が運転時の注意点を学び、安全に対する意識を高めた。

日本自動車連盟(JAF)静岡支部が協力した。シートベルトの効果や装着の体験では、時速5キロで生じる衝撃を体感しながら、衝撃を分散させるためのシートベルトの適切な着用方法を学んだ。安全講話で同支部の職員は事故原因や危険予知の必要性を動画などを通じて説明し、「危険を予測するだけでなく、しっかりと行動に移すことが大切」と呼びかけた。